

# 広報すみれ

No. 22

August 2015  
～ふれあい特集号～



夏の涼を楽しむ「納涼会」  
～感謝を込めて～

特集1

山本 利彦・藤枝すみれ会理事長 挨拶

特集2

全体保護者会・送迎運転手の紹介

特集3

地域との繋がり「交流会」「地域のバザーへ出店」

特集4

TOPICS



## 積み重ね

理事長 山本利彦

暑い暑い夏もやっと先が見えてきました。皆様いかがお過ごしでしょうか？

お盆が終わり、喧しかったセミの音が、虫の音となり、秋が近づいているなーと実感するようになってきました。そうは云っても、まだまだ残暑厳しい折、体調には十分気を付けていただきたいと思います。

今年は戦後七十年、全国高校野球(甲子園)が一九一五年の第一回大会から数えて一〇〇年、私達

すみれ会では西部すみれの家の開所と記念すべき節目の年でもあります。

これからの長い歴史の第一歩であり、毎日精一杯、自分なりに努力を重ねていけたらいいなと思っています。

さて、一年前私達が計画した国際絵画展のことを覚えていますか？皆様のご協力により、大成功を収める事が出来ました。早いもので、二年余りが経過しましたが、その時の招待画家のキク・ポックさんは、昨年も広島に招待され来日、彼から声がかかりあまり時間がないうちに、浅草見物と美味しい寿司で再会を楽しみました。その時に彼からは是非ともバルセロナに遊びに来てほしい、私が案内をしますと声をかけてもらい、念願がかない、今年のゴールデンウィークに仲間六人でスペイン旅行を楽しんできました。キク・ポックさんはバルセロナから車で三十分位の近郊、サン・クガ・デル・バリウスという古い教会(五世紀建設)と落着いた街並みの素晴らしい住宅街で個展を開

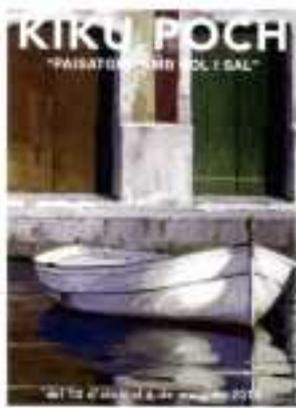
いていました。タイトルは「太陽と塩のある風景」藤枝で開催した時に見た、あの光と影、キラキラした太陽と海の絵が会場いっぱいに見せられており懐かしさで目を見させてもらいました。その時のポスターを紹介します。

また、美味しいパエリアのレストランに連れて行ってもらう、カバとビールで乾杯、次はワインといやが上にも盛り上がり、皆大満足、キクさんいわく、バルセロナのパエリアの店だそう、店名は「バルセロナータ」です。キクさんは、二年前初めて来日し、藤枝が最初に知った街であり、皆さんから親切にしてください、忘れられないそうです。お世話になった方々や、毎晩遅くまで付き合ってくれた事務長の木野さんにもよろしく伝えてほしいと、何度か念押し、機会があればまた日本へ、それも藤枝を訪ね、皆さんと再開し旧交を温め、とりわけ山内屋さんで腹一杯美味しい寿司を食べたいとのこと。これも不思議な何かの縁、皆様もバルセロナへの計画をすることがあれば連絡

を取りますので、遠慮なく声をかけて下さい。

二十七年度も五ヶ月が経過、すみれ会の運営も順調に推移しているようです。事務局も少しずつ経験を重ね、たくましくなってきました。言葉の端々から、運営に対する目配り、気配りのほどが伺えるようになってきました。

今すみれ会が抱えている課題、東部・南部・北部の家の老朽化について、いずれ避けては通れない課題であり、理事・評議員の皆様と検討し答えを出していく必要があります、具体的な意見交換できるように準備に入っているようです。いずれにしても、委員の方々に共通の認識を持ってもらい、何から解決すべきかをしっかり議論し理解しあう事が大切です。これから長い長い歴史を育むためにも、皆様力を一つにし、小さな力をより大きく成長させていこうではありませんか。



キク・ポックさんのポスター

## 藤枝すみれ会 保護者総会

平成二十七年六月十七日  
(水)生涯学習センターにて  
全体保護者会を開催いたしました。  
多くの保護者がお集まり  
いただいた中、平成二十六年  
度の事業報告や決算報告を  
しました。次に平成二十七年  
度の事業計画、事業予算、各  
事業所の課題とグループホー  
ムについての説明をし、保護  
者の方々が真剣に聴講した保  
護者会となりました。

社会福祉法人藤枝すみれ会 全体保護者会



## 東部すみれの家・南部すみれの家「送迎職員採用」

東部すみれの家の送迎職員  
として四月から今村悦雄さん  
が採用され、南部すみれの家  
の送迎職員として七月から岡  
田智行さん、橋本利正さん、  
北谷勝利さんの三名が採用さ  
れました。送迎運転手として  
経験のある方や利用者と触れ  
合いの経験のある方、これか  
ら利用者送迎職員として前向  
きな方達です。

送迎後にも利用者に関わっ  
て利用者の事を知らうとして  
います。

藤枝すみれ会の送迎サービ  
ス実地要綱に基づいた、生活  
介護サービス利用者に対し、  
円滑な生活介護サービスの利  
用が図られるよう送迎サービ  
スを提供します。  
どうぞよろしくお願いしま  
す。

南部すみれの家採用  
岡田智行送迎職員



東部すみれの家採用  
今村悦雄送迎職員



南部すみれの家採用  
北谷勝利送迎職員



南部すみれの家採用  
橋本利正送迎職員



## 東部すみれの家 送迎職員の思い

東部すみれの家の送迎サー  
ビスを実施して一年半近くが  
経ち、安定した送迎が出来て  
います。安全運転はもちろん  
の事、利用者への寄り添いや  
心遣いが見られています。

送迎職員からは「安心して頂  
けるように保護者や近所の方  
にも挨拶をしています。それ  
が利用者さんを通して自分  
に戻ってきます。」「気持ち良  
く乗って貰えるように車をき  
れいにし、藤枝すみれ会とい  
う看板を背負って走っている事  
を念頭においています。」との  
言葉も聞きました。  
これからも利用者が安心出来  
る送迎を心掛けます。



一緒に草取りもしています

## うどん作り交流会

## 東部すみれの家

平成二十七年七月十六日（木）に東部すみれの家にて、毎年恒例の「うどん作り」を開催しました。民生委員の方や地域のボランティアの「おいしい元気会」、藤枝北高校の生徒達や講師の皆様が参加して一緒に触れ合い、交流を深め、更に障害特性の理解を深めて貰う事を目的の一つとして行いました。

種まきから収穫・脱穀と食材を育てる工程を経て調理をし、口に入るという長い期間を事前準備に費やしました。これには高校生の福祉教育の実践の場を提供することにも繋がっており、皆も学生達との触れ合いの場となりました。

当日は、利用者と顔なじみとなっている皆様の顔には普段以上の沢山の笑顔が溢れていました。支え合って生きている証明だと思われれます。

去年は作るお手本を後ろで見ていた利用者が、今年は積極的に生地作りに参加する姿も見られました。体験を重ねることで興味が引き出され自信に繋がる経験になったかと思えます。



手作りうどんを堪能。天ぷら付き！



協働でうどんを伸ばす工程

クレープにかき氷、アイスづくりと豪華なメニューに知的好奇心がくすぐられたことでしょう。



高校生とクレープ作り

様々な立場の方との交流会は東部すみれの家が目指している、前号でもご紹介した「ふじのくに型」に一步近づいたものになったと思います。地域の方々と一緒に楽しみながら行えた事が双方にとって喜びの連鎖になったことでしょう。

準備した竹で流しうどんをする天候には恵まれませんでした。来年にリトライします！

また一緒に楽しみましょう。

当日はお手伝いしていただいた保護者の方々へ、「どうもありがとうございました。」

## 地域のバザー出店

## 西部すみれの家

今年度より始まった西部すみれの家では、地域のお祭りやバザー等の販売に参加する事に、より力を入れていきます。

国産の材料のみで作るクッキーにフィナンシエ、パウンドケーキ等は味に定評があり固定客も多くなっています。気持ちのこもった『手作り焼き菓子』を色々な人に知って貰いたい、食べて頂きたいという思いで作っています。

自信を持って作り上げた焼き菓子を今年度は地域の介護老人保健施設「マインド」様、「カリタスマンテ」様へと定期的に販売に行っております。それぞれの施設様では、ご家族またはお孫さん達に購入してくれる方も多いです。お菓子を選んでいる時「この前おいしかったから楽しみにしていたよ。」等の言葉を頂き、利用者や職員共々とても感謝して販売に携わることが出来ました。皆様のお褒めのお言葉が更に私達の励みになり、販売にお伺いすることが楽しみになってきました。

当初は緊張していた利用者も次第に慣れていき「いらっしやいま



「任せてください。」  
販売を楽しみにしていました



初めての販売先に楽しみな緊張感があります

せ。「ありがとうございます。」「お釣りは五〇〇円です。」等の言葉や計算、袋詰めも自分から積極的に行うようになっていき、「販売お願いしますね。」の声に「任せてください。」と頼もしい言葉も出るようになってくる利用者もいます。お客様と触れ合う回数を重ねる毎に自信がついていき、成長を見られる事に職員も喜



焼き菓子を吟味して  
選んでいただいています

びを感じています。八月にはポップライフ様のお祭りに参加させて頂き、お客様がじつくりと選んでくれている姿がありました。「前に買っておいしかった。」「お土産に買っていい。」等を言われると利用者もはりきり、気持ちが入ります。自主的に商品の補充や丁寧な袋に入れてお渡しするといった行動へと繋がっていくのです。直接『人』と関わることで『人』との繋がりを実感でき、地域の方々に受け入れられているという思いと共に『やりがい』を感じる事が出来ています。それが更に『生きがい』へと繋がっていくことでしょう。利用者の「頑張り」と輝きを地域社会へ発信」する事へと一歩ずつ前進しています。

# サロンとの交流会

# 南部すみれの家

長年お付き合いのあるサロンの『切島ティータイムの会』の方との交流会を平成二十七年七月三日（金）に南部すみれの家にて行いました。毎年、夏と冬にお互いの場所で行って交流会を行っています。当日はあいにくの雨でしたがサロンの方は元気な姿を見せてくれました。

「こんにちは！」今年の夏にお会い出来た事に元気な挨拶が飛び交いました。

今回は岡田智行さんのサクスの生演奏がありました。岡田さんは色々な老人介護保健施設等に慰問演奏をしている方であり、過去に南部すみれの家にも演奏ボランティアとして来て頂いたことがあります。

今回の演奏を利用者もとても楽しみにしていました。「東京音頭」「アナと雪の女王」など馴染みの曲や流行りの曲、「美空ひばり」「AKB」「石原裕次郎」などの歌を演奏してくれました。サロンの方にも利用者にもなじみのある曲で、サロンの方も口ずさむ方や、いつもは音楽に激しく体を動かしている利用者に

が静かに聞き入っている姿も見られ、サクスの音色に引き込まれていました。音楽療法としてのサクス演奏が行われている方も多く、素晴らしい演奏は人の心に響いていきます。

音楽のリズムは脳を活性化させ、心を和ませ、他者への親密な感情を生みだし、同じ空間でそれ



大好評のかき氷屋



心に染みるサクスの生演奏

らを共有したメンバーは言葉はなくても共感を得られたことだと思います。

心を癒された後は美味しいかき氷を皆一緒に頂きました。利用者がかき氷屋の係を行い、注文を聞いておもてなしをする「交流」です。トップینگにあんこや白玉もあり、自分で選べる好みの味付けが出来た大好評なかき氷屋となりました。

サロンの方達と毎年元気な顔を拝見出来る事が何よりもかえがたい交流だと思っています。また冬にお会い出来ることを楽しみにしています。



美味しいかき氷に100点満点！

## 初！納涼会

## 北部すみれの家

平成二十七年七月二十四日（金）に日頃からお世話になっている民生児童委員の方達に感謝の気持ちを伝え、一緒に楽しんで頂く会として初めての『納涼会』を北部すみれの家にて行いました！

「納涼」とは「夏の盛りの暑さを避けるために涼しさや過ごしやすい工夫して創り出して味わうこと」という意味があります。猛暑という事もあります。夏を楽しめるように色々な企画を計画しました。事前準備としてポスターに提灯飾りや輪飾りを作り、トーンチャイムの練習など、「納涼会」という一つの目的に皆で向かいました。カウントダウンのカレンダーを作成し、一日の終わりの「帰りの会」で当番がめくっていき、利用者の気持ちや当日に向けてとんとん上がっていきけるように職員が流れを作っていました。

待ちに待った当日は天候にも恵まれて、藤枝第一地区と青島第二地区の民生児童委員の方達と音楽指導の岡先生の三十五名に利用者と職員で総勢八十名近くでの賑やかな納涼会が始まりました。民生委員の方が歌

やギターを弾きながら「幸せなら手をたたこう」などの手遊び歌で楽しませてくれたり、利用者からは得意のトーンチャイムで「エーデルワイス」「富士山」などの曲を披露しました。皆の前に出て踊り出す利用者もいて、どれをとっても拍手と大歓声で盛り上がりを見せました。



楽しいゲームコーナー「魚釣り」



大好評！手作りの五平餅！

民生委員の方達が輪投げや魚釣りなどのゲームコーナーや、フランクフルトやかき氷、五平餅の係などをしてくださり大活躍していただきました。五平餅は大人気で「焼き立ておいしい」「楽しい。」という感想が次々と聞かれ、保護者からも「大変だったでしょうけど良い企画をしてくれてありがとう。」「家でもスタンプカードをずっと眺めていました。」と余韻を楽しむ姿を教えてくださいました。大盛況となった初の納涼会は民生委員の方達、利用者、職員が一つになって楽しめたものとなり、地域と共に歩むことが出来た感謝の会となりました。参加頂いた皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございます。



西迫会計事務所 望月さんも参加してくれました「和やかで楽しい雰囲気ですね」

# TOPICS

## 東部すみれの家 食べる事の大切さ

藤枝市の食育推進計画に基づいて「食育と防災についての講座」を保健師に行って頂きました。常日頃から望ましい生活習慣をつける改善を行い、疾病を予防する健康作り、「食べる事を学ぼう」という趣旨です。

本人参加型の講座では日常的に目にはしているポテトチップスの袋やアイスカップを見たり手に取ったりしながらカロリーや摂取量について学んでいきました。スライドを用意し、視覚に訴えた講座は理解を深める助けとなり、皆、集中していました。防災食については、乾パンやウィダーインゼリーの様なカロリーがあって栄養が取れるものの紹介がありました。普段の食事に一品追加する事で栄養バランスの良い食事になることのアドバイスを頂くことが出来ました。



「食」の大切さを学ぶ時間

## 東部すみれの家 紙すきハガキ

創作活動から生まれた作品が商品化しました。自分のことを知る一つのきっかけになった創作活動の絵、動植物や小物を得意としていた利用者が人物画を描いたことから本人も「自分でこんな絵を描くとは思わなかった。」という言葉が出たくらいの発見と驚きでした。皆、才能を持っています。どう引き出すかが支援として結びつきます。色々な職員が掛かり色々な角度から見ていくことの重要性。皆の表現を形にしたい、社会に発信したいという職員達の思

いが今回の加工品を生み出しました。試行錯誤しながら色々な作品を生み出していきます。それにはチームワークが大事であることを常に念頭に置いていきます。



味わいのある「紙すきハガキ」

## 西部すみれの家 職場実習

就労移行の利用者三名が食品工場、高齢者施設、ドラッグストアで職場実習を行いました。食品工場では足切りや選別しての袋詰め作業でした。高齢者施設では清掃とシーツ交換を行い、体力（体力作り）の大切さを学びまし

た。ドラッグストアでは商品の品出し作業でした。各々、好評価と課題を頂きました。

一生懸命与えられた作業を行う労働意欲や真面目さに好評価を頂き、それは今後も伸ばしていくような活動を、課題に対しては今後克服していくような活動を行っていきます。今回の実習で就職に向けての目標ができ、利用者・職員と二人三脚の支援を行って、今後も実習や就職に挑戦していきたいと思えます。



清掃・シーツ交換  
「高齢者施設」にて



足切り・袋詰め作業  
「食品工場」にて



品出し作業

「ドラッグストア」にて

### 西部すみれの家 就職おめでとう！

四月から三ヶ月のトライアル期間を経て七月より就労移行の利用者一名が石田缶詰株式会社様にて本採用となりました。石田缶詰株式会社様はカレーを中心としたレトルト食品製造の企業です。実習期間中は職員やシヨブコーチが付き、その後の試用期間中も休まずに通いました。本人は「ここで頑張る。就職したい。」そんな思いで頑張っていました。本採用された事を「嬉しい。」と喜び、職員はもちろんのこと保護者の方もとても喜んでいました。本人は「働く事」に抵抗はなく、毎日通

う事を「当たり前」なことだ  
と思っ通っています。

現在の仕事内容としてカレーなどの具材である野菜や肉の下ごしらえから、出来上がった製品のパレット積みなど色々な作業を行っています。玉ねぎの芯取り、冷凍した牛肉を包丁で握りこぶし二個分程に切ったりもします。凍っている為に意外に力のある作業です。一日働く体力もつきました。隣で社員の方が同じ作業を行っている事、社員の方が暖かく優しいという環境の良さが本人ともマッチしていたと思われま。頑張っ勤められることを心より応援しています。



真面目に仕事に取り組む姿

### 南部すみれの家 園芸講師の指導

今年度より、植物の特性や利用者の特性を理解している北野八十次さんを講師として園芸活動を行っています。南部すみれの家の利用者への理解がある為、利用者も安定した関わりが出来ています。

季節の花を種から植える事、畑のうね作りやサツマイモ植え、野菜をプランターで育てる楽しさを味わう事など、特性に合った支援方法で色々な園芸活動の指導をして貰いました。うね作りではトラクターの使い方や学び、花の生育に必要な水やりや肥料、育つ課程、咲いた花の鑑賞など植物の『育て方を学ぶ』体験を増やしていく目的です。

利用者にはどの花の種が良いか、どの野菜を植えたいか選択して貰います。そして日々の水やりや植え替えなどをし、自分達で育てて実った野菜(きゅうり、ナス、かぼちゃ、オクラ、

ピーマン)を収穫し『食べる』ことまでの一連を、喜びを交えて楽しみながら体験しています。今年には収穫した野菜を調理実習の中で浅漬けやキーマカレーや天ぷらへと変身させて美味しい時間を味わう事ができました。今後、秋冬も園芸活動を楽しみに行います。



畑作業も生き生きと行います

### 南部すみれの家 防災訓練「煙編」

藤枝市の消防署に依頼して火事を想定しての避難訓練、煙体験、消火訓練を行いました。台所から火事発生を想定し、煙を吸わないようにハンカチで



「煙体験ハウス」の体験

口元を押さえて外へ避難。ハンカチを身につけていないと煙を吸ってしまいます。外で「煙体験」ハウスで実際の煙の立ち込める建物を体験することが出来ました。全く視界がゼロの状態の中を出口に向かって進む事がとても困難だと分かります。怖がって中に入れない利用者もいました。火事発生時は煙を吸わない、腰を低くして逃げることを教わりました。実際はパニックになってしまう為、緊急時の為の「訓練」の必要性を学ぶ事ができ、不足していた部分に気づかされるものになりました。

### 北部すみれの家 マークイズ静岡へ

生活介護の外出体験にてバスと電車に乗る事を目的にして、マークイズ静岡へ外出しました。公共の乗り物へのマナーは身につけていました。初めて行くマークイズ静岡に皆、興奮気味でした。女性陣は買い物を楽しみでハンカチやボールペンやノートを購入。「手紙を書きたい。」そんな思いで選ぶ事は気持ちもはずみです。男性陣は外国製のお菓子などを購入。いつもと違う商品を見るのも良い体験です。

楽しみなお昼はフードコートで自分の食べたいものを選び、仲間と食べる事の相乗効果で楽しさが倍増しました。外出することは生活に張りが出て、色々見ることは刺激にもなります。沢山の経験によって得られるものを、日常と違う体験を今後も取り入れていきたいと思っています。



仲間と好きな物を食べる醍醐味

### 北部すみれの家 工場見学

就労継続Bでは静岡市にある納豆専門メーカーの株式会社「富良食品」様へ工場見学に行ってきました。「仕事とは『働くとは』を学ぶ為です。大豆から納豆が出来るまでの製造過程の見学をさせて貰いました。働いている人と同じように専用の白衣・ヘアキャップ・マスク・シューズカバーを着用しての入室です。

大豆に納豆菌を入れて五十度位の部屋で発酵させると、皆が食べている美味しい納豆になる事が分かりました。



「納豆」を実際に手に取り観察

発酵させる為に室温も高くその中で仕事をしている社員の方達の仕事を知りました。説明を聞いている利用者も汗をかきましたが、しっかりと説明を聞け、落ち着いて見学が出来ました。蒸しただけの大豆や蒸しパンの試食ができ、自然の味を食してきました。利用者からは「納豆が出来る様子が分かった。」といった感想が聞けて自分達が普段口に入っているものはどうやって作られているのか、商品に合わせて暑い室内でも働く事などを学ぶ事が出来ました。そういった体験が今後へと繋がっていくことを期待します。

## 藤枝市社会福祉協議会の夏スペ☆THE☆ふくし

社会福祉協議会開催「夏スペ☆THE☆ふくし」に八月五日、六日と参加しました。『高齢者・障害者・児童等、さまざまな人との関わりを通して福祉について学ぶ中で色々な事に気付き自分出来る活動への一歩となることを願い、考える機会となるように』という目的での開催でした。藤枝すみれ会として依頼され、「障害について」の講師として萩原総括事業長が出席し、北部すみれの家・西部すみれの家が体験に参加しました。「障害について」の講話には体験談を真剣に聞く中学生と高校生の姿がありました。

利用者は高校生達と一緒にフルーツポンチを作り模擬店の係やお客となって楽しんで参加してきました。『共生社会』『人権』について学び、障害があるうとなかろうと皆同



## 毎月の会計監査

今回各事業所を訪問し、実地指導も兼ねた会計監査を行いました。確認事項としては、「現金預金残高確認、入出金伝票、決裁書等及び証憑書類と総勘定元帳の突合、経過勘定項目の確認、現金及び棚卸の実査」です。実施した結果、指摘事項はありませんでした。西迫会計事務所望月さんからは、「北部すみれの家の納涼会を見させてくださいましてありがとうございます。各拠点の現金及び棚卸の実査を致しました。適切に処理されていることを確認いたしました」という報告がありました。今後も引き続き適切な処理をしていきます。



## 職員研修参加

平成二十七年度職員の八月までに参加した研修会です。

- ・改正食品表示研修会
- ・新人職員研修Ⅰ
- ・静岡県相談支援従事者初任者研修
- ・就労支援スキル向上研修
- ・自閉症公開講座
- ・PTA進路学習会
- ・藤枝市社協役員研修会
- ・社会福祉施設運営管理
- ・就業支援基礎研修
- ・福祉サービス苦情解決研修会
- ・障害者虐待防止・権利擁護研修

サービスの向上の為に今後も研修に参加してスキルアップに努めていきます。

## 今月の最高の一枚

冬の季節になると藤枝市在住の青木桂一郎様から、沢山のみかんを頂きます。利用者に食べて貰いたいという思いから届けてくださったっています。頂いたみかんを見て「食べたい。」と言ってくる利用者達。ビタミン豊富なみかんを感謝しながら毎日美味しく頂いていました。

そして今年のお茶の季節に、利用者に美味しいお茶を飲んで貰いたいという気持ちで込められた緑茶を、沢山頂きました。

「沢山のお茶をありがとうございますー！」

利用者の皆が大好きな静岡県の特産品の緑茶とみかん。静岡県は日本のお茶の四〇%以上を生産している為か、飲まれている量は日本一の県だというデータがあります。緑茶にはカテキンやビタミンやテアニンなどの栄養素が入っており病気予防やリラックス作用があります。そんなホッとしたりと時を味わえている事に感謝いたします。



## 今月の最高の一枚

『一人ひとりに合わせた支援』

東部すみれの家の日常のひとつです。イスに座って洗濯ものを干している利用者や職員の様子。お互いに信頼し合っているからこそその安心感が表情に表れている一枚です。

掃除の係りの仕事を「ピカピカきらきら係り」と利用者の興味を引くネーミングで捉えている事。順番で行って行く事。

どんなやり方で行ったら出来るのか、一人ひとりに合った支援方法を考えて自分で出来ることを増やしていく、その繰り返しの日々が前に進む一歩となります。それが本人の「自信」にも繋がっていく、「自尊心」も芽生えるのではないのでしょうか。

それぞれが協力し合う事、誰もが活躍出来る場面を作っていく事は日々の生活で大切なことだと思っています。



『地域との繋がり』

今回の広報は「ふれあい特集号」でした。地域の友達との交流会やバザー販売を各施設で行った夏。猛暑となった今年も皆さんの元気な顔を見せ合えた事を喜びました。今年は北部すみれの家が日々お世話になってるボランティアの方達への感謝を込めて初の「納涼会」を行いました。お互いがお互いをもてなし合う形の「協働」の会にもなり、楽しい「納涼会」ではなかったでしょうか。参加者の輝く笑顔と雰囲気。

地域の方達との繋がりを改めて感じ、感謝の気持ち広がったことだと思います。

広報担当 K・O